

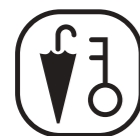


ぶんがくかん いりぐち た
文学館への入口と かさ立て



ぶんがくかん いりぐち かいしょうめん
文学館の入口は、1階正面に あります。

ぶんがくかん なか はい みぎがわ た
文学館の中に入ると 右側に かさ立てが あります。



なが しりょう あぶ も
長いかさは、資料にあたると危ないので、持ちこみません。

なが も
長いかさを 持っているときは、

いりぐち た い と
入口にあるかさ立てに かさを入れ、かぎを取ります。

た
かさ立てのかぎは、なくさないように

なか
ポケットや かばんの中に しまいます。

げんかん
玄関ロビー



ぶんがくかん なか はい げんかん
文学館の中に入ると、玄関ロビーが あります。

げんかん ぶんがくかん なか
玄関ロビーをはじめ文学館の中は、

ひと
たくさんの方がいたり、さわがしいことも あります。

ひと ころ
人にぶつかったり、転んだりすると ケガをするので

あ
ゆっくり歩きます。



そうごうあんない うけつけ
総合案内（受付）



ぶんがくかん はたら
文学館で働いている スタッフたち



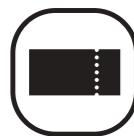
げんかん うけつけ
玄関ロビーには、「受付」があります。

ぶんがくかん
文学館には、わたしをむかえてくれる、
さまざまなスタッフが ^{はたら}働いています。
スタッフは、^{あか}赤いジャンパーや ^{いろ}こん色の制服を ^き着ています。

かくにん たす ひつよう
確認したいことがあるときや、助けが必要なときは
うけつけ ぶんがくかん
受付をはじめ、文学館にいるスタッフに
たずねることができます。
そうすれば、そのスタッフは よろこんで こたえてくれます。



チケット売り場



売場のスタッフに見たい展示会の名前を伝えて、

チケットを買って受け取ります。



障害者手帳などを持っている場合は、

スタッフに見せることで、チケットが無料になったり、安くなります。

無料で見られる場合は、無料チケットを受け取ります。

わたしが受け取ったチケットは、なくさないようにします。

人がたくさんいるときは、自分の順番がくるまで、

列に並んで待ちます。

かばんを あずけるときの (コインロッカー)



かばんは、1階にあるコインロッカーに あずけることができます。

コインロッカーを使えば、

かばんを持たないで 展示を見ることができます。

コインロッカーの中に かばんを置いたら、

100円玉を入れて かぎを閉めます。

かぎをぬき取り、なくさないように

ポケットや おさいふの中に しまいます。

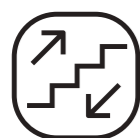
100円玉は、かぎを開けるときに もどってきます。



てんじしつ
展示室へ 行くとき



(1階から2階)



2階へ 行くときは、階段を使います。

エレベーターを使って、行くこともできます。



(1階)

トイレ



トイレへの入口 (踊り場)



トイレは、2階へ上がる

階段の途中の 踊り場に あります。



また、バリアフリートイレは、1階に あります。



バリアフリートイレの中 (1階)